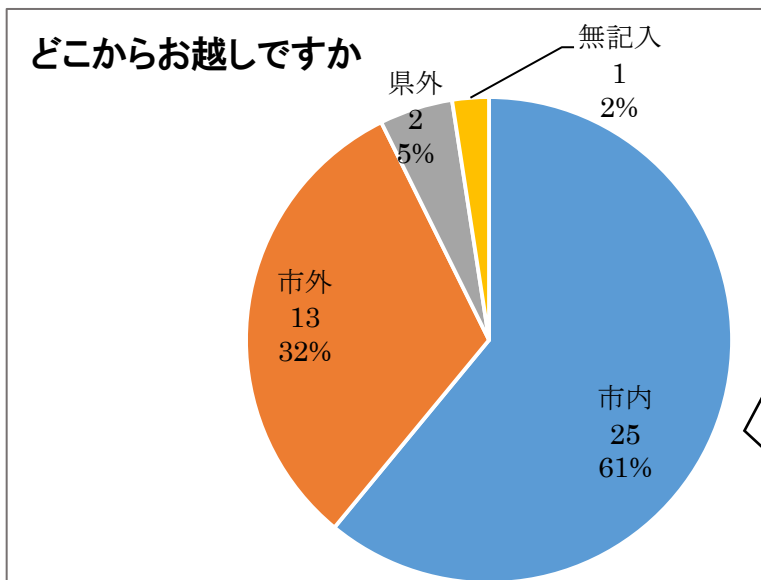
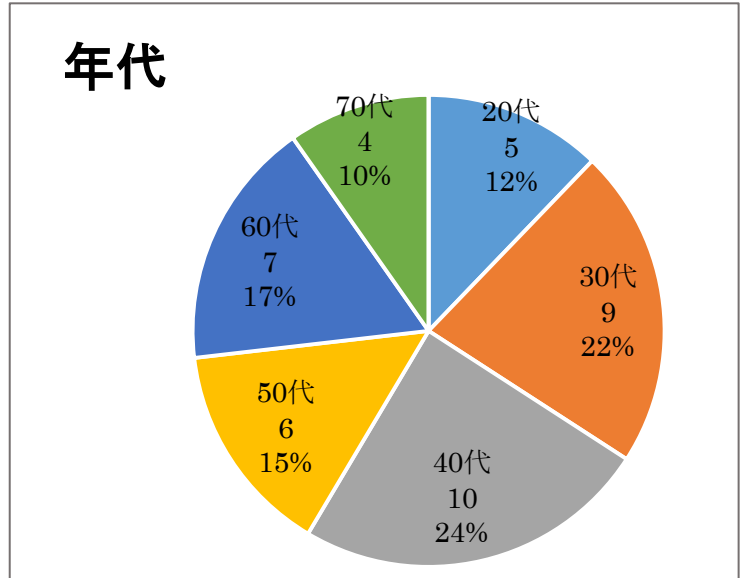
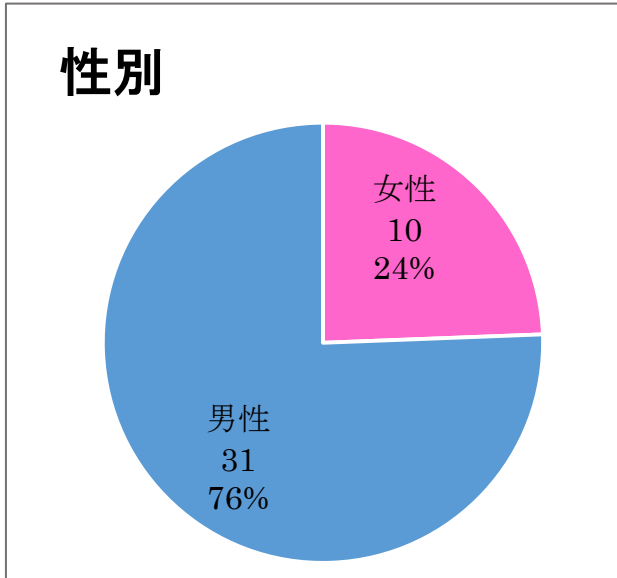


アンケート集計結果

1. アンケート回答者数

対象者 60 名 回答者数 41 名 回収率 68.3%

2. アンケート回答者の性別、年代集計結果



【市内】

安富 吉田 高津 二条 鎌手 益田 小野
安田 高城 中西 東町 幸町 匹見 中西
西益田

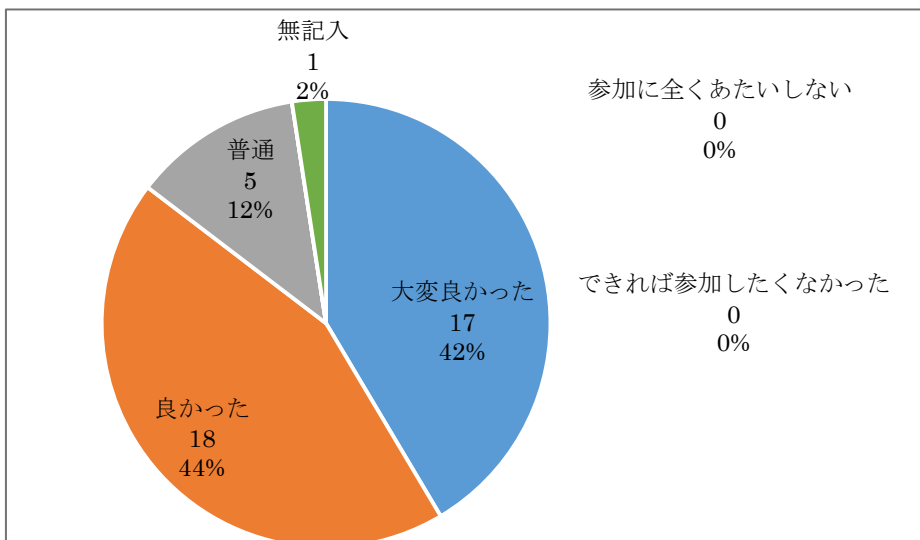
【市外】

美郷町 出雲市 江津市 大田市 津和野
飯南町 浜田市 松江市 雲南市

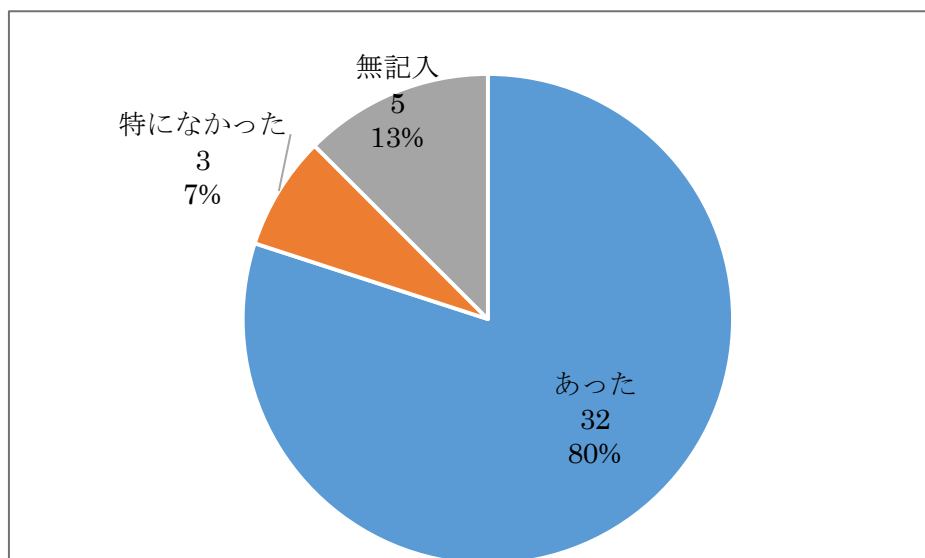
【県外】

山口県山口市 山口県萩市

3. [問1] 今回の成果報告会に参加して良かったですか。



4. [問2]あなたのコミュニティ(地域・職場・サークルなど)で活用できそうな取組みがありましたか。



(意見)

- ・地域の自治会で鳥獣被害のクラウド活用の提案
- ・仕事の共有をすることができる点について。
- ・基本Googleのサービスで全て対応できそうですね。セキュリティーとバックアップの問題ですね。
- ・土木系の管理システム、地域からの情報収集、通報。
- ・kintoneを活用しての鳥獣対策
- ・地域で活用
- ・益田地区
- ・中学生にアプリ作成を広げる
- ・空き家定住、防災(危険地域の共有)
- ・各地域で色々な情報共有や情報発信できればいいかなと思いました。
- ・事務局の公民館の活用(事業所内での活用)
- ・様々な情報管理の手法
- ・既に利用している
- ・地域での鳥獣出没状況の管理... etc
- ・景観、その日の天気や花の開花情報
- ・共有化
- ・防災
- ・空き家の対策は参考になりました。
- ・鳥獣害の部分とかは、話し手がフィールドを良く知っていた人だったから良かったです。他地域の住民さんに聞いてほしくなりました。
- ・事務、情報共有フローの改善
- ・山口市の中山間地域で報告会のあった取組みが活用できると思います。
- ・観光振興
- ・有害鳥獣対策
- ・真砂の岸本さんの事例、防災(危機管理課)は、避難所管理のメンバーに地区振興センター職員を入れてほしい。
- ・鳥獣害対策
- ・顧客管理(地図)
- ・労組のチームで使いたいですが自粛する

5. [問3]本日の成果報告会の感想及びクラウド活用のアイデアがありましたらお聞かせ下さい。

- ・ バスの天気などリアルタイムで市民共有できるシステムもほしい。移動状況。益田市の活きた情報源がなく、Uターン者だか寂しく感じるので、上記に加え、イベント、祭り、ワークショップ、習い事など、提供者や見学者、客が書き込めるようなサイトがあると休日や余暇の楽しみを見つけやすい。
- ・ 誰を対象にして今後どのようにしていきたいのかが良くわからない。今後地域として行なっていく為には、高齢者の方の参加が不可欠だと思うが、インターネット難民(弱者)の方が多いので難しいのではないかと思う。
- ・ 可能性のきっかけのツールになるとは思いました。来年から市役所職員になることもあり、勉強させていただきました。ありがとうございました。【感想】そもそものkintoneについて分からなかったので説明が分かりにくかった。もっと導入の部分を厚くした方がわかり易い。聞きにくいプレゼンでした。実際、ドロップボックスといった無料のサービスとの違いがわからない。岸本さんの事例だけに関しては、ドロップボックスを使うこととの違いが分からなかった。
- ・ 多くの人に活用してもらうには、使い易く手軽に情報を入力できるとか大事だと分かった。最新の情報をより多くの人に共有できるようになるので、そのようなものをうまく使えるようなアイデアを考える必要だと思った。
- ・ 年齢、分野問わず様々な場合で積極的にkintoneを活用している姿勢がとても素晴らしいと思いました。ITリテラシーのある人達にこそ、もっと使ってほしいですね。二条の意識の高い猟師さんたちに感動しました。学校や教育現場も超超アナログなので、ぜひその現場にクラウド活用を提案して下さい。
- ・ サイボウズ様の以前からの取組が、Googleをどう超えるかが知りたくての参加でした。アプリが作れる。CMSをさらに便利にしたイメージですね。それが自分で作れる流れを是非体験してみます。ありがとうございました。
- ・ まちづくり社会に活かしたい。
- ・ 医療、介護の分野での活用も考えてほしいと思います。
- ・ 市内全体に普及するためにも、地区振興センター等へ研修会等を開催してはどうか。今のままでは上スベリになってしまう恐れがある。
- ・ 大変役に立ちました。今後、地域内において活用を広げていきたいと思いました。
- ・ ICTを活用した～など、私の日常では無いに近いものでしたので、少々ハードルが高く場違いに感じました。しかし、こういうものを手に入れたらさぞ便利で世界が広がるものとも感じました。益田市も頑張り始めているんだと出席してみてもっとしっかり分かったのが収穫だと思いました。
- ・ 地域で一番活動されている「前期高齢者」の方々がどれほど使えるか不透明です。サイボウズのサービスは素晴らしいですが、行政が住民にどのように使わせていくのか、今後期待しています。
- ・ 地域をどうまとめるか。地元+Uターン者
- ・ 情報管理の難しさを感じたが、オープンデータの流れにのっている実証実験の内容だったので広がってほしい。
- ・ インバウンド向けに絵になるスポットの積み上げた後に観光ルートの開発に活用してみたい。
- ・ 地域情報化の取組みの参考としたい。
- ・ kintoneは有効である。
- ・ 一貫して思ったのは、中間地域は人材不足で動ける人の仕事量が多くなってしまっており、デジタルで短時間で、できる仕事が増えていければ、負担軽減になり、新たな事業も増えるし、新たな人材も生まれてくるのでは。そのツールとしてkintoneはぴったりだと思う。クラウドシステムの旨味は当たり前だが、情報をすぐさまみんなで共有できること。このことをもっと推していければ、難しそうだな…とと思っている人でも使ってくれるはず！
- ・ ICTというよりも「情報」に関して大変参考になる報告会でした。情報は誰にとっても「情報」とはなりえない。情報は、見る人、使う人にとって認識でき、タイミングよく現れ、見やすく、次のアクションに繋がるようになって初めて「情報」となる。キーワードは「情報」「参加」「チームワーク」この3つをつなげる一つの手段がkintoneであることがよくわかった。
- ・ プログラムの順番がもったいなかったです。最後の挨拶の際は人がいる方が良かったなー。
- ・ 益田市の自治組織の方々の積極的な姿勢に感動いたしました。
- ・ 事例紹介を市外でもやっていただきたいです。
- ・ 各地域自治組織と市のやり取りについて、各アプリ単位でやり取りをすれば、市の負担が大きくなるように思われる。各地域から市への報告は、どうしても各地区ごとのアプリ使用に引きずられてしまう。各地区のアプリ作成が活性化する前に、対策考えたほうがいいのかも。「○○○」という項目は各地区必須とか。